

令和2年第2回定例会 一般会計予算・決算審査特別委員会審査記録

- 1 日 時 令和2年6月24日(水) 午前9時58分
2 場 所 市役所 第一委員会室
3 議 題 議第105号 令和2年度村上市一般会計補正予算(第4号)
4 出席委員(20名)
- | | | | |
|-----|-------|-----|--------|
| 1番 | 上村正朗君 | 2番 | 菅井晋一君 |
| 3番 | 富樫雅男君 | 4番 | 高田晃君 |
| 5番 | 河村幸雄君 | 6番 | 本間善和君 |
| 7番 | 鈴木好彦君 | 8番 | 稲葉久美子君 |
| 9番 | 鈴木一之君 | 10番 | 渡辺昌君 |
| 11番 | 尾形修平君 | 12番 | 鈴木いせ子君 |
| 13番 | 川村敏晴君 | 14番 | 姫路敏君 |
| 15番 | 川崎健二君 | 16番 | 木村貞雄君 |
| 17番 | 長谷川孝君 | 18番 | 佐藤重陽君 |
| 20番 | | 20番 | 小杉武仁君 |
| 21番 | 大滝国吉君 | | |
- 5 欠席委員(1名)
19番 山田勉君
6 地方自治法第105条による出席者
議長 三田敏秋君
7 オブザーバーとして出席した者
なし
8 説明のため出席した者
なし
9 議会事務局職員
- | | |
|-----|------|
| 局 長 | 小林政一 |
| 次 長 | 内山治夫 |
| 書 記 | 中山航 |

(午前9時58分)

委員長(大滝国吉君)開会を宣する。

○本日の審査は、議第105号 令和2年度村上市一般会計補正予算(第4号)について、それぞれ、各分会長の審査報告ののち、質疑を行う。

日程第4 議第105号 令和2年度村上市一般会計補正予算(第4号)を議題とし、議第105号 令和2年度村上市一般会計補正予算(第4号)について、総務文教分科会長 小杉武仁君から審査の概要について報告を受けた後、総務文教分科会報告についての質疑を行い、市民厚生分科会長 長谷川孝君から審査の概要について報告を受けた後、市民厚生分科会報告についての質疑を行い、経済建設分科会長 川崎健二君から審査の概要について報告を受けた後、経済建設分科会報告についての質疑を行う。

総務文教分科会
(報告)

小杉総務文教分科会長 ただ今上程されている議第105号 令和2年度村上市一般会計補正予算(第4号)のうち、総務文教分科会の所管する審査範囲についての審査の概要と経過について、ご報告申し上げます。

去る6月17日、市役所第1委員会室において、一般会計予算・決算審査特別委員長、

分科会委員7名、副市長、教育長及び理事者説明員の出席のもと、総務文教分科会を開催した。

初めに、歳入全款について担当課長から説明を受けた後、質疑に入った。

第19款 繰入金について、委員より、森林環境整備基金から繰り入れを新規計上する旨の説明だが、具体的な内容はどの質疑に、航空レーザー撮影については当初予算に計上していないが、これを行う協議会への負担金として新潟市と村上市が負担するものであり、森林環境譲与税を原資とするその基金から、今回400万円を繰り入れするものであるとの答弁。

第20款 繰越金・第21款 諸収入については質疑なく、次に歳出について質疑に入った。

第2款 総務費で、委員より、コミュニティ助成事業の申請件数の内訳はどの質疑に、一般コミュニティ事業20件の申し込みの内、2件が採択、コミュニティセンター建築補助事業については1件申し込みで採択は0件、自主防災事業については2件の申し込みで採択は0件であるとの答弁。また、委員より、コミュニティ助成事業については毎年申請件数も多いが、効果や実績について追跡調査は実施しているかとの質疑に、調査は実施していないが、今後検討していきたいとの答弁。

第10款 教育費で、委員より、中学校管理経費では、村上第一中学校で、強風のために倒れた樹木と同列の残った樹木の伐採経費との説明であったが、他校でも危険な樹木がないか把握するよう努めるべきではとの質疑に、各学校や教育事務所とも連携し、情報収集に努めながら適切に対応したいとの答弁。

第13款 諸支出金で、委員より、基金費の減額については当初の基金積立に関する目標があったはずだがとの質疑に、森林環境譲与税が増額されるが、用途が林業関連に限られることから、航空レーザーについては当初実施できるか定かではなかったため、積み立てる計画としていたとの答弁。

第14款 予備費については質疑がなかった。

以上で質疑を終結し、賛否についての発言を求めたが発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第105号のうち、総務文教分科会所管分については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと態度を決定した。

以上で報告を終わる。

総務文教分科会 (質疑)

姫路 敏 コミュニティ助成事業の件だが、いつもの話だと当初説明あったときに金屋と檜原の2集落に250万円だったと思うが、それ二つで500万円ということだが何件の申し込み、これ宝くじだと思うがそういったようなことはなかったか。

小杉総務文教分科会長 宝くじの補助事業ということで多くの申し込みがあるが、何件という具体的な数字は出ていなかった。

姫路 敏 もしできれば、後で聞いておいてほしいが、非常に確率が悪いといふかなんといふか、確か30件前後の集落が応募する。私の住む瀬波浜町も応募したりもするが、非常に確率が悪いといふことはどういうことかといふと、申し込んだ集落が全く当ての出来ないままに返ってきたらもうけものといふことであげてる集落が大変多いので、今度進言してその辺のところを委員長の方からも言ってもらいたいと思うがどうか。

小杉総務文教分科会長 今姫路委員おっしゃるように、非常に枠が厳しい中で、毎年申請件数は増えていっているという状況は把握している。その中で行政側からの指導も含めて、今後するべきではないかという発言も委員の中ではあったので、今後委員会を含めて調査と研究を進めながら担当課のほうには申し入れをしていきたいと思っている。

市民厚生分科会
(報 告)

長谷川市民厚生分科会長 ただ今上程されている議第105号 令和2年度村上市一般会計補正予算(第4号)のうち、市民厚生分科会の所管する審査範囲についての審査の概要と経過についてご報告いたします。

去る6月18日市民厚生常任委員会終了後、市役所第1委員会室において、一般会計予算・決算審査特別委員会正副委員長、分科会委員7名、副市長、担当課長、担当職員及び議会事務局長出席のもと分科会を開催し、担当課長から説明を受けた後、質疑に入った。

歳入では、第16款県支出金について、委員より、介護基盤整備事業費補助金は1床あたり100万円以上かかるわけだが、この事業の詳細な内容はどの質疑に、山北徳洲会病院の療養病床60床を来年4月から介護医療院に転換するもので、医療型30床については県の直接の補助金で介護医療院へ転換されるが、介護型30床を市が介護医療院に転換するための市補助金であるとの答弁。

歳出では、第3款民生費について、委員より、報道では肴町病院についても介護医療院へ転換することだが、いつ頃になるのかとの質疑に、第8期中に転換したいとの計画であるとの答弁。他にさしたる質疑なく、以上で質疑を終了し、賛否態度の発言を求めたところ発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第105号のうち市民厚生分科会所管分については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと態度を決定した。

以上で報告を終わる。

市民厚生分科会
(質 疑)

なし

経済建設分科会
(報 告)

川崎経済建設分科会長 ただ今上程されている議第105号 令和2年度村上市一般会計補正予算(第4号)のうち、経済建設分科会の所管する審査範囲についての審査の概要と経過について主なものをご報告申し上げます。

去る6月19日、市役所第1委員会室において、経済建設常任委員会の審査に引き続き、正副委員長、分科会委員7名、副市長はじめ関係課長及び関係職員、議会事務局長出席のもと経済建設分科会を開催した。

初めに、歳入について、予算付託表の記載順に担当課長より説明を受けたのち質疑に入ったが、第16款 県支出金については質疑がなかった。

次に歳出について、予算付託表の記載順に担当課長から説明を受けたのち、質疑に入った。

第6款 農林水産業費について、委員より、中山間地域等直接支払交付金経費で、棚田地域指定の申請をしたのは、高根と荒沢の2集落だけであるが、他集落から申請がなかった理由はどの質疑に、説明会を開催したが要望がなかったとの答弁。

また、委員より、棚田地域指定の申請をするメリットとデメリットはあるかとの質疑に、10アール当たり1万円が中山間地域等直接支払交付金に加算される。高根集落は約640万円、荒沢集落は約180万円の加算となり、この経費を活用して共同活動等が行える。しかし、加算を受けるためには新たな活動計画の作成や協議会の立ち上げなどの手間がかかるため、要望が少なかったのではないかとの答弁。

次に、委員より、棚田地域指定の申請が積極的にできるような支援体制が必要ではどの質疑に、始まったばかりの制度なので、引き続き集落に周知をし、できる限り多くの集落に取り組みをしてもらうように働きかけていきたいとの答弁。

委員より、新潟県スマート林業推進協議会負担金は、本市と新潟市の2市が手を

挙げているとのことだが、本市の負担金は2,700万円で、総事業費はいくらかとの質疑に、新潟市の事業費は1,530万円の予定で、本市は3,735万円であり、総事業費は5,265万円であるとの答弁。

委員より、庁用器具購入費について、朝日シルクフラワー制作工房のエアコンの整備とのことだが、指定管理施設であれば、50万円以下の修繕は事業者の対応ではないのかとの質疑に、朝日シルクフラワー制作工房との協定書では、5万円以上の修繕費は市が負担するとなっているとの答弁。

委員より、村上総合病院の周辺道路に防犯灯を設置する工事とのことだが、防犯灯はいくつ設置されるのかとの質疑に、施工延長が400mあり、防犯灯は10本設置されるとの答弁。

以上で質疑を終結し、賛否態度の発言を求めたが、賛否態度の発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第105号のうち経済建設分科会所管分については、起立全員で、原案のとおり可決すべきものと態度を決定した。

以上で報告を終わる。

経済建設分科会

(質 疑)

なし

以上で質疑を終結し、討論を求めたが討論なく、起立による採決を行った結果、議第105号については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと決定した。

委員長（大滝国吉君）閉会を宣する。

（午前10時16分）